事例紹介

CI-NET 導入経緯と現状の課題

平成24年2月24日
五洋建設株式会社
購買部 大野 誠司



目次

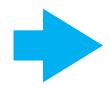
- 1 CI-NET導入経緯
- 2 購買部門の導入~展開~現状
- 3 現状の課題と今後の展開

1)導入検討

CI-NET導入条件・機運(社内外)の進展

社内:事務処理業務集中化の取り組み において注文書業務がシステム化

社外: CI-NET取り組み企業の増加 ASPサービスの普及



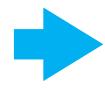
CI-NET導入に向け具体的検討へ

2)検討内容•取組方針

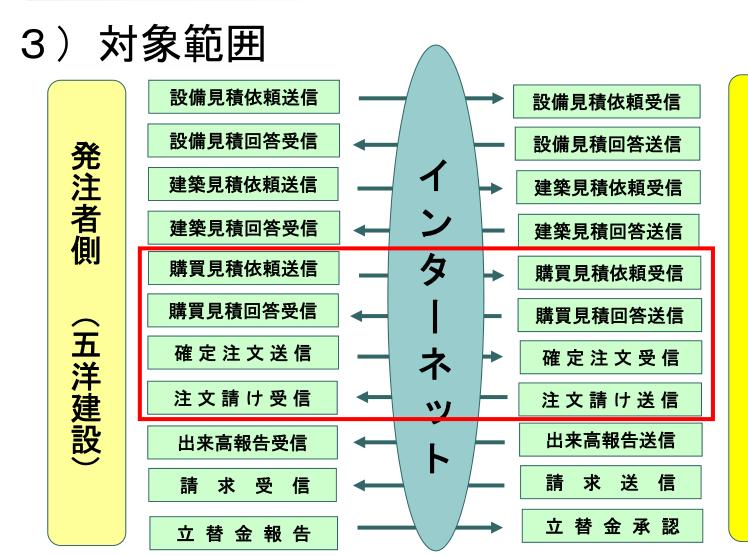
社内: 対象範囲(利用者・業務)

導入の容易さ・効果

社外: 協力会社への周知・依頼

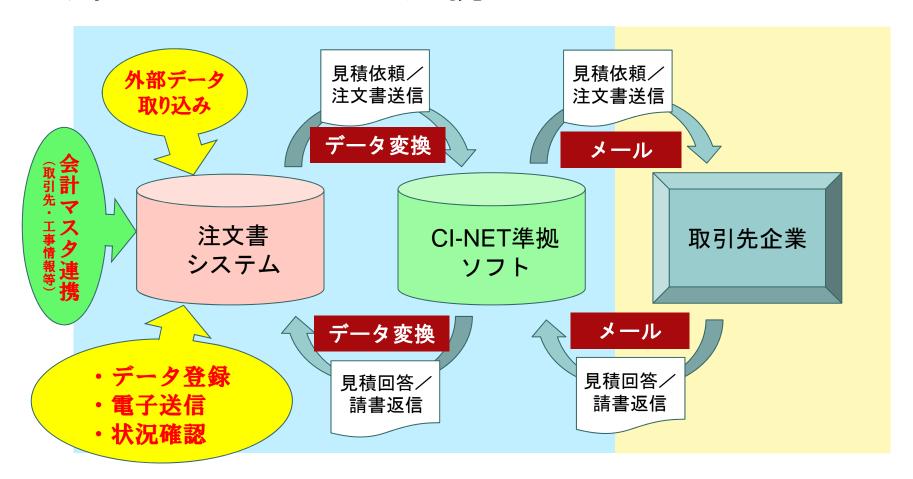


購買(資材調達) から着手



受注者側(当社協力会社)

4) 社内システムとの連携



5)検討~運用開始スケジュール

項目	2005年度	2006年度	2007年度
■導入検討 検討開始・方針決定			
■導入手続き 説明資料作成・説明 稟議手続き・承認			
■システム導入 システム・機器調達 システム構築・テスト			
■システム開発 仕様検討・決定 システム開発・テスト			
■ 書類整備 協定書・マニュアル・ 手続きフロー作成			
■協力会社契約 第一弾業者選定 契約手続き			
■運用開始		*	
■協力会社契約 第二弾業者選定 契約手続き			
■業者拡大説明会 ^{説明会準備・実施}			*

1)導入•展開状況

2006年10月~

協力会社10社を対象に全店購買部導入

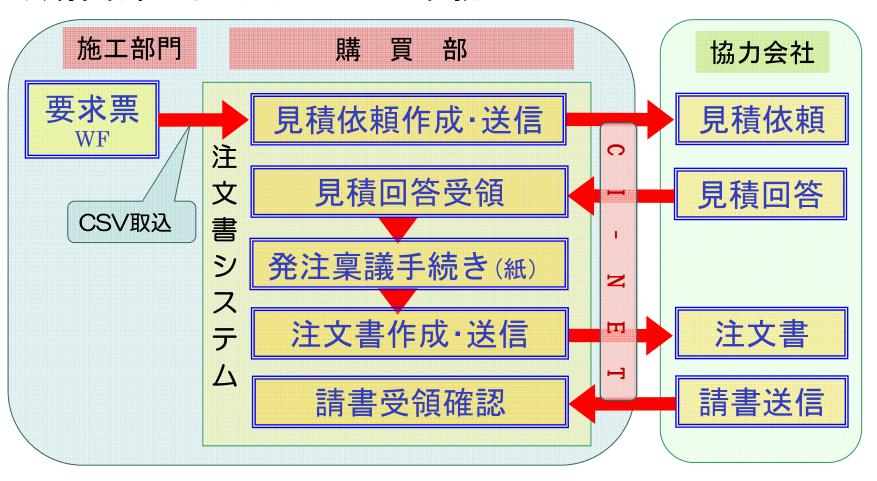
2007年10月~

100社導入を目標に説明会を実施 (東京・大阪・九州)

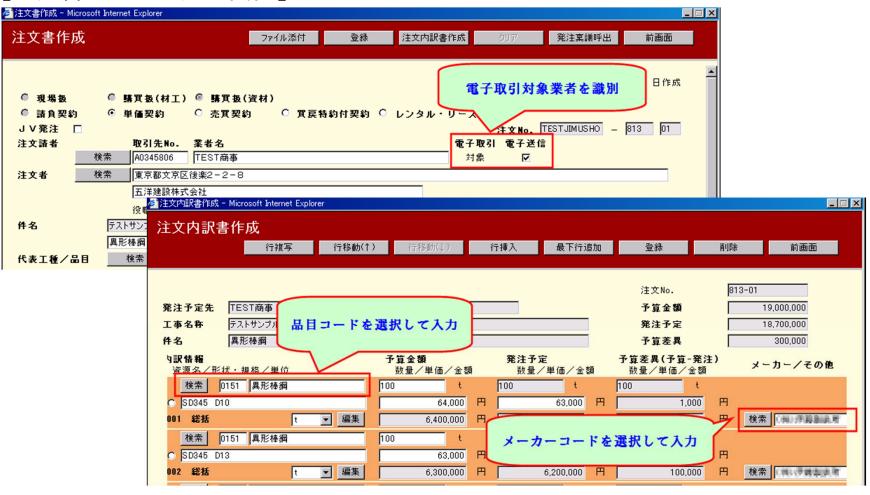
2009年4月~

購買契約の電子取引率50%以上を目標に 設定し展開

2)購買部におけるCI-NET業務フロー



【注文書システム入力画面】



3)運用・支援体制

購買部

新規導入業者の開拓 及び導入依頼

本社 ITグループ

社外業者委託

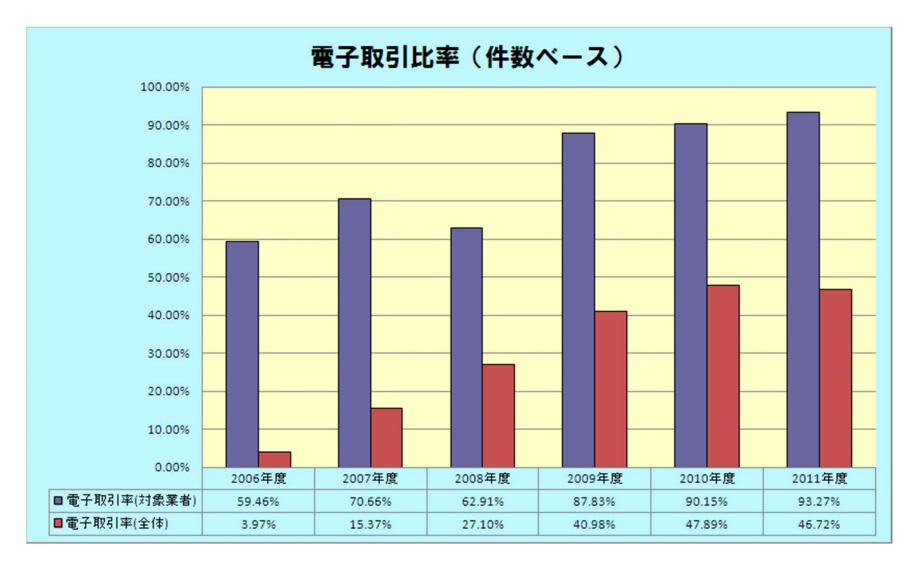
協力会社登録 契約手続き システム開発·維持管理 関連部署調整

補足資料:協力会社への案内(当社ホームページ)



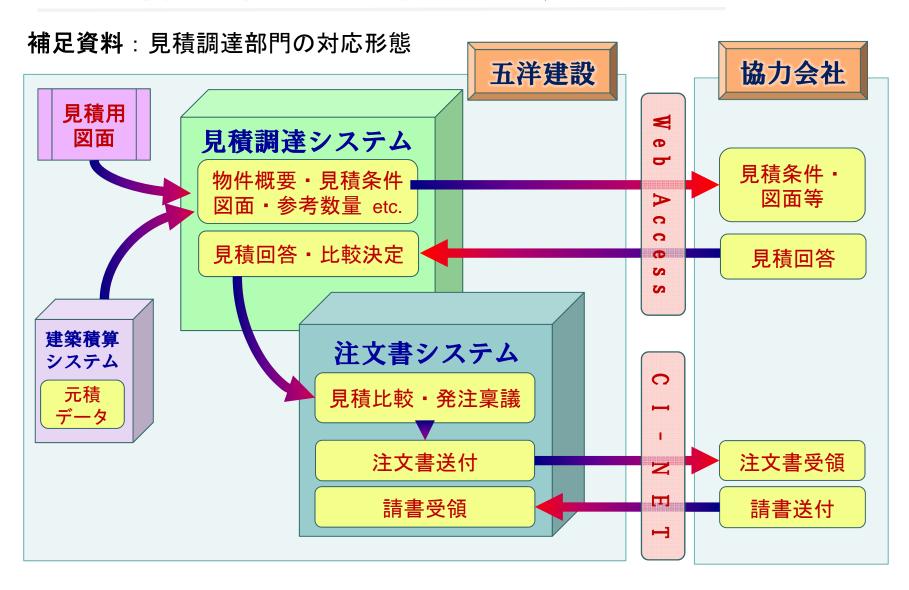
4) 購買部における電子化状況





5) 導入メリット

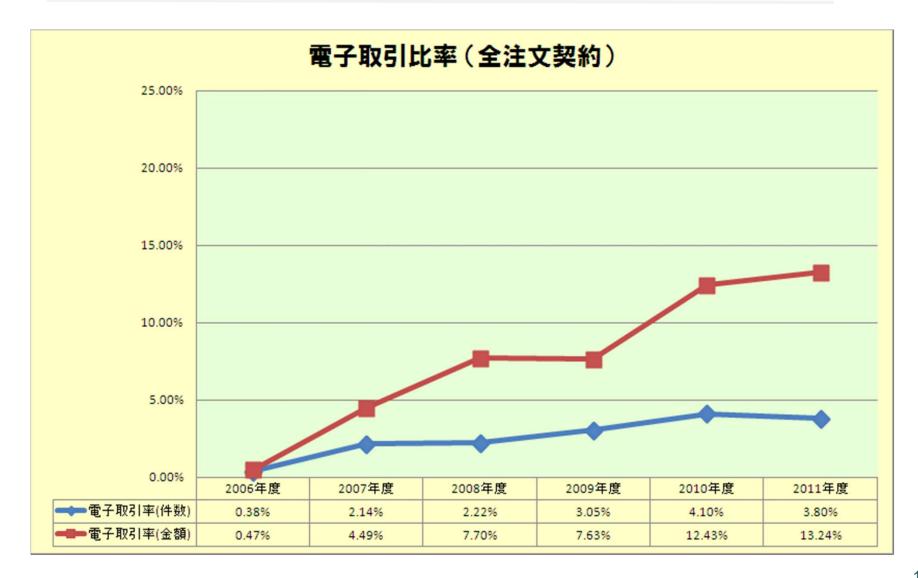
- ■業務の効率化と経費節減
 - >注文書、請書の作成手間と紙の削減
- > 注文書、請書の郵送手間、郵送費削減
- > 注文書、請書の送受信管理が不要
- > 関連会社の請書印紙代が不要
- > 明細データ入力手間の削減



3. 現状の課題と今後の展開

- 1)現状の課題
 - 地方支店の電子取引率向上
 - 社内承認手続きのワークフロー化
 - 施工部門展開時の社内対応体制
 - ■協力会社の拡大・運用サポート

3. 現状の課題と今後の展開



3. 現状の課題と今後の展開

2)今後の展開

- 電子取引の対象範囲の拡大(請負契約)
- ■請負契約購入情報のデータベース化
- 当社グループ会社への展開(一部展開済)
- MASP事業者との連携強化
- 将来に向けた出来高・請求業務の電子化 導入の検討

ご清聴ありがとうございました

五洋建設株式会社

